

環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第1・第2・第3工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善の PDCA サイクル（計画・実行・検証・対応の繰り返し）をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベランス審査及び定期ごとの更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノには多くの木材が使用されています。それらの木材を扱うカワイは創立 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により、カワイの森育成会（河合弘隆会長）を設立しました。

カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂ の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生することや持続可能な木材資源の確保を目指して、PT. カワイインドネシアとインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいてファルカタ、チーク、マホガニー等の植林活動を行っています。2017 年度には水産養殖等の目的で急速に破壊されたマングローブ林の再生活動も取り組みをはじめ 2020 年度までにカラワン県の海岸エリアにマングローブの苗木を約 9 万 2000 本、山林も含めて約 650ha の土地に約 70 万本の植林をおこない、ほとんどの樹木がこれまで順調に成長しています。

試算では「カワイの森」により年間 10,000t 程度の CO₂ の吸収効果があり、カワイグループ全体の CO₂ 排出量の 49%程度を吸収しているものと考えています。



「森の中の緑の工房」竜洋工場

竜洋工場は、2020 年に竣工 40 周年を迎えました。

1997 年にはピアノ業界で初となる ISO14001 を取得し、工場の環境方針には建設当初から推進している工場緑化を掲げています。現在では工場敷地の約 50%が緑地化されています。工場の従業員によって植樹された約 3 万本の木々は長い年月を経て成長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい緑豊かな工場となりました。

毎年秋には磐田市内のこども園の園児たちが工場を訪れてどんぐり拾いを行うなど、竜洋工場の「森」ならではの地域貢献も行っています。



「森の中の緑の工房」竜洋工場



どんぐり拾う園児たち